

# 麦の穂が黄金色に 刈取りを迎える麦秋の野田

## ～県内一の作付面積と収穫量～

今年も市内目吹や船形などの「麦作団地」が一面黄金色に染まり、風が吹くと麦の穂がまるで波のように揺れている。県内一（作物統計最新データによる）の作付面積と収穫量を誇る大麦・小麦が収穫時期を迎え、5月から麦の刈取りが始まった。

野田市で本格的に麦が作られるようになったのは、昭和 57 年から。米の減反政策により、田んぼを集団化して船形に「麦作団地」を作ったのが始まり。

その後、目吹、小山でも麦作団地が作られ、令和 4 年の野田市の麦の作付面積は、およそ 191ha（小麦約 162ha・大麦約 29ha）と県内最大規模となっている。

刈り取られた小麦はうどんの原材料となる製粉に、大麦（六条大麦）は麦茶に加工される。

○大麦の収穫は、5月21日（日）に終了しました。

○小麦の収穫は、船形は6月1日（木）から、目吹と小山は6月5日（月）ごろから約2週間に渡って収穫を開始する予定です。

《参考》県内の麦の作付及び収穫状況（農林水産省 作物統計：令和 4 年産）

### ※県内収穫量上位 6 市町村

| 市町村名 | 作付面積(小麦) | 収穫量(小麦) |
|------|----------|---------|
| 野田市  | 162 ha   | 517 t   |
| 横芝光町 | 86       | 251     |
| 神崎町  | 87       | 164     |
| 香取市  | 70       | 141     |
| 三武市  | 38       | 87      |
| 成田市  | 36       | 51      |

※大麦については、公表されておりません。

※収穫日は天候等により変動いたします。お手数ですが、取材等は事前に農政課までお問い合わせいただければ幸いです。

問合せ＝農政課・直通 04-7123-1086

代表 04-7125-1111（内線 2340）

野 田 市